

高齢社会対策総合調査

(高齢者の生活と意識に関する国際比較調査)(第10回)

令和7年度

内閣府政策統括官(共生・共助担当)

目 次

第1章 調査の目的及び方法等

1. 調査の目的	1
2. 調査の仕様	1
（1）調査対象国及び調査対象者	1
（2）調査事項及び調査実施時期	2
（3）調査の方法と回収数	3
（4）サンプリング方法	4
（5）調査実施機関	7
（6）企画分析委員	8
（7）本報告書を読む際の留意点	9
3. 調査対象者の基本属性	11
（1）男女比率（F 1）	11
（2）年代別構成比（F 2）	11
（3）結婚の状況（事実婚含む）（F 3）	11
（4）同居の状況（F 4 - 1）	11
（5）同居者人数（回答者を含まない）（F 4 - 2）	11
（6）子供の有無（同居・別居別）（F 5）	12
（7）最終学歴（F 6）	12
（8）住居形態（F 7）	12

第2章 調査結果の概要

1. 調査対象者の基本属性	13
（1）男女比率（F 1）	13
（2）年代別構成比（F 2）	13
（3）結婚の状況（事実婚含む）（F 3）	14
（4）同居の状況（F 4 - 1）	16
（5）同居者人数（回答者を含まない）（F 4 - 2）	18

(6) 子供の有無 (同居・別居別) (F 5)	20
(7) 最終学歴 (F 6)	22
(8) 住居形態 (F 7)	24
2 . 家庭生活の状況	26
(1) 家族の生活に果たす役割 (問 1)	26
(2) 別居している子供との接触頻度 (問 2)	28
(3) 子供や孫とのつきあい方 (問 3)	30
3 . 健康や医療・福祉サービス	32
(1) 現在の健康状態 (問 4 - 1)	32
(2) 現在、健康上の理由で制限がある行動 (問 4 - 2)	34
(3) 日常生活での介助や介護の必要性 (問 5)	36
(4) 健康について心がけていること (問 6)	38
(5) 医療サービスの利用状況 (問 7)	40
(6) 医療サービスに対する不満点・問題点 (問 8)	42
(7) 医療や福祉サービスに不満がある場合の対応 (問 9)	44
4 . 経済生活	47
(1) 主な収入源 (問 10)	47
(2) 1 か月当たりの平均収入額 (問 11)	49
(3) 日々の暮らしに困ることの有無 (問 12)	51
(4) 老後の経済生活に対する備え (問 13)	53
(5) 老後の備えとしての現在の貯蓄や資産の充足度 (問 14)	55
5 . 就労	57
(1) 現在の収入を伴う仕事の有無 (問 15)	57
(2) 一番長く経験した仕事の内容 (問 16)	59
(3) 退職年齢 (問 17)	61
(4) 今後の就労意欲 (問 18)	63
(5) 収入を伴う仕事をしたい (続けたい) 理由 (問 19)	65
(6) 収入を伴う仕事をしたくない (辞めたい) 理由 (問 20)	67

6 . 住宅・生活環境	69
(1) 住宅の問題点 (問 21)	69
(2) 心身の機能が低下した場合の住宅の住みやすさ (問 22)	71
(3) 心身の機能が低下した場合の希望 (問 23)	73
(4) 外出時の移動手段 (問 24)	76
(5) 外出時に気になる点 (問 25)	79
7 . 友人・知人との交流、社会活動、情報収集	82
(1) 人と直接会って話をする頻度 (問 26)	82
(2) 同居の家族以外に頼れる人 (問 27)	84
(3) 近所の人たちとの付き合い方 (問 28)	87
(4) 親しい友人の有無 (問 29)	90
(5) 孤独であると感じる程度 (問 30)	92
(6) 社会活動への参加状況 (問 31)	94
(7) 社会活動に参加しない理由 (問 32)	97
(8) 所有している情報通信機器 (問 33)	100
(9) 利用している情報通信機器 (問 34)	103
(10) 情報通信機器の利用状況 (問 35)	105
(11) 情報通信機器を利用しない理由 (問 36)	108
8 . 生きがいや生活満足度	110
(1) 生きがいを感じることの有無 (問 37)	110
(2) 生きがいを感じる時 (問 38)	112
(3) 生活の総合満足度 (問 39)	114
9 . 政策に対する態度	116
(1) 高齢者に対する重要な政策や支援 (問 40)	116
(2) 老後の生活費に対する考え方 (問 41)	119
(3) 家や職場以外に、居心地がよいと感じられる場所 (問 42)	121
(4) 取得したい知識やスキル (問 43)	123

第3章 調査結果の推移

1. 調査対象者の基本属性	125
(1) 男女比率 (F 1)	125
(2) 年代別構成比 (F 2)	126
(3) 結婚の状況 (事実婚含む) (F 3)	127
(4) 同居の状況 (F 4 - 1)	129
(5) 同居者人数 (回答者を含まない) (F 4 - 2)	130
(6) 子供の有無 (同居・別居別) (F 5)	131
(7) 最終学歴 (F 6)	132
(8) 住居形態 (F 7)	133
2. 家庭生活の状況	134
(1) 家族の生活に果たす役割 (問 1)	134
(2) 別居している子供との接触頻度 (問 2)	136
(3) 子供や孫とのつきあい方 (問 3)	138
3. 健康や医療・福祉サービス	139
(1) 現在の健康状態 (問 4 - 1)	139
(2) 現在、健康上の理由で制限がある行動 (問 4 - 2)	141
(3) 日常生活での介助や介護の必要性 (問 5)	142
(4) 健康について心がけていること (問 6)	143
(5) 医療サービスの利用状況 (問 7)	144
(6) 医療サービスに対する不満点・問題点 (問 8)	145
(7) 医療や福祉サービスに不満がある場合の対応 (問 9)	146
4. 経済生活	147
(1) 主な収入源 (問 10)	147
(2) 1 か月当たりの平均収入額 (問 11)	148
(3) 日々の暮らしに困ることの有無 (問 12)	149
(4) 老後の経済生活に対する備え (問 13)	150
(5) 老後の備えとしての現在の貯蓄や資産の充足度 (問 14)	151

5 . 就労	152
(1) 現在の収入を伴う仕事の有無 (問 15)	152
(2) 一番長く経験した仕事の内容 (問 16)	153
(3) 退職年齢 (問 17)	154
(4) 今後の就労意欲 (問 18)	155
(5) 収入を伴う仕事をしたい (続けたい) 理由 (問 19)	156
(6) 収入を伴う仕事をしたくない (辞めたい) 理由 (問 20)	157
6 . 住宅・生活環境	158
(1) 住宅の問題点 (問 21)	158
(2) 心身の機能が低下した場合の住宅の住みやすさ (問 22)	159
(3) 心身の機能が低下した場合の希望 (問 23)	160
(4) 外出時の移動手段 (問 24)	161
(5) 外出時に気になる点 (問 25)	162
7 . 友人・知人との交流、社会活動、情報収集	163
(1) 人と直接会って話をする頻度 (問 26)	163
(2) 同居の家族以外に頼れる人 (問 27)	164
(3) 近所の人たちとの付き合い方 (問 28)	165
(4) 親しい友人の有無 (問 29)	166
(5) 孤独であると感じる程度 (問 30)	168
(6) 社会活動への参加状況 (問 31)	169
(7) 社会活動に参加しない理由 (問 32)	170
(8) 所有している情報通信機器 (問 33)	171
(9) 利用している情報通信機器 (問 34)	172
(10) 情報通信機器の利用状況 (問 35)	173
(11) 情報通信機器を利用しない理由 (問 36)	174
8 . 生きがいや生活満足度	175
(1) 生きがいを感じることの有無 (問 37)	175
(2) 生きがいを感じる時 (問 38)	176
(3) 生活の総合満足度 (問 39)	177

9 . 政策に対する態度	178
(1) 高齢者に対する重要な政策や支援 (問 40)	178
(2) 老後の生活費に対する考え方 (問 41)	180
(3) 家や職場以外に、居心地がよいと感じられる場所 (問 42)	181
(4) 取得したい知識やスキル (問 43)	182

第 4 章 調査結果の分析・解説

企画分析委員による解説 (敬称略・五十音順)

・ 高齢者の日常生活 - スウェーデンと日本の比較から - 齊藤 弥生	183
・ 家・職場に続く高齢者の「サードプレイス」の実態 ~ 日常にある場に着目して ~ 澤岡 詩野	190
・ 高齢者の「孤独感」に関連する要因について ~ 日本・米国の国際比較調査データを用いて ~ 塚田 典子	200
・ 日本と比較しながら見るドイツの日常生活レベルでの 高齢者へのインフォーマルな支援 芳賀 和恵	216
・ 単身高齢者の「他者とのつながり」や 「孤独感」に関する国際比較 - 4カ国比較 藤森 克彦	226
・ 高齢者の経済状況と主観的な暮らし向きをめぐる 4カ国比較 和気 純子	240

第 5 章 集計結果

1 . 調査票	247
2 . 4 か国単純集計結果	266
3 . クロス集計表 (基本軸クロス) 各国ごと	284
基本軸クロス表側 : 性 / 性 × 年齢 / 性 × 未既婚 / 性 × 同居形態 / 住居形態別 / 都市規模 / 地域	
(1) 日本	284
(2) アメリカ	336
(3) ドイツ	388
(4) スウェーデン	440

4 . クロス集計表 (質問間クロス) 各国ごと	492
質問間クロス表側 1 : Q4-1 健康状況 / Q6 健康について心がけていること / Q11 1 か月の平均収入額 (夫婦合計) / Q12 日々の暮らしに困ることがあるか / Q15 就業形態 / Q16 これまで一番長くした仕事 / Q28 近所の人とのふだんのつき合い方 / Q30 孤独であると感じる程度	
質問間クロス表側 2 : Q31 ボランティア活動その他の社会活動 / Q35 通信機器の利用内容 / Q37 生きがいを感じる程度 / Q38 生きがいを感じる時 / Q39 生活満足度 / Q40 大切だと思う高齢者に対する政策や支援	
(1) 日本	492
(2) アメリカ	596
(3) ドイツ	700
(4) スウェーデン	804